

ドイツ

【日程】平成19年10月19日(金)～27日(土)の9日間
 【派遣団員数】市内中学生8人
 【訪問都市】ベルリン、キルヒハイムポールンデン、
 フランクフルトほか

目に飛び込んでくる素晴らしい光景に感動

浅野 匡胤さん(南方中2年)

飛行機で12時間、ようやくドイツに着いた。行くところすべてが新鮮で日本では決して見ることができないような光景が次から次へと目に飛び込んできた。石造りの建物、博物館、ブランデンブルグ門など、どれも素晴らしかった。毎日、自然環境や戦争の足跡、古城見学、街並み探索などのテーマに沿った研修が行われ、時間があっという間に過ぎていった。なかでも、ザクセンハウゼン収容所を見学したとき、迫害されて命を失ったユダヤの人たちのことや、戦争による犠牲者がドイツに本当に存在したことなどを思うと、平和であることがいかに大切かを感じなければならなかった。フランクフルトに移動してから、いよいよ4日間のホームステイが始まった。僕がお世話になった家には、3歳上の高校生ニコラスがいた。迎えてくれたときから気さくに話し掛けてくれ、言葉の違いがあっても安心して楽しむことができた。毎日夜遅くまでパーティーをして楽しんだ。日本に帰るとニコラスから「学校を卒業したら日本に行きたい」とメールが届いていた。僕も自分の力でまたドイツに行きたいと思った。ドイツで過ごした9日間は本当に有意義だった。たとえ言葉の壁があってもコミュニケーションが取れるということを感じることができたし、ドイツで友だちになった人たちの優しさを大切にしたいと思った。この研修が家族をはじめ、いろいろな手を借りて成り立っていることに感謝し、自分のこれからの生き方に役立てたいと思う。



- 1 カイザースラウテンサッカースタジアムの記者会見場で記念撮影
- 2 風力発電の工場見学
- 3 サッカースタジアムの観客席にて

登米市青少年海外派遣事業

感動いっぱいの海外体験記

市では、「青少年海外派遣事業」を通して、諸外国の人たちとの相互理解と交流を深め、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目指しています。平成19年度は、カナダ、ドイツ、オーストラリア、アメリカの4カ国へ市内中高生36人を派遣し、現地の学生との交流やホームステイなどさまざまな体験をしてきました。
 ※アメリカについては、3月中旬に派遣します。
 ※20年度の募集については、5月号でお知らせします。
 【問い合わせ】教育委員会生涯学習課 ☎0220(34)2698



オペラハウスを背景に(オーストラリア)

オーストラリア

【日程】平成19年11月29日(木)～12月6日(木)の8日間
 【派遣団員数】市内中学生12人
 【訪問都市】メリバラ、ブリスベン、シドニーほか

コアラやカンガルーなどの動物たちとふれあい

山田 結香さん(東和中3年)

オーストラリアでの8日間の研修はとても貴重な体験になりました。ホストファミリーはとても温かく、いつも笑いが絶えませんでした。夜になると、さまざまな動物が家の周りに集まってきて驚きました。集まってくるグライダーやポッサム、鳥などに毎日エサをやっているそうです。毎日英語で会話をしていると、自然に単語が出てきて、たくさん質問ができるようになりました。ホストファミリーは動物園や海、港、ショッピングセンターなどに連れて行ってくれて、いろいろなことをわたしに教えてくれました。また、行く先々で「こんにちは！」と声を掛けてくれる人が多く、みんなおおらかに明るく親切でした。シドニーでは、オーストラリア独自の文化や伝統を知ることができました。ボンダイビーチは想像していたより広く、楽しみだったオペラハウスではデザイナー一つ一つに意味があることを学び、自主研修では水族館に行きました。ワイルドライフパークでは、コアラやカンガルーなどを見ました。お金の使い方にも慣れ自分で商品を買うことができるようになり、またいつかオーストラリアに来たいなあと思いました。さまざまな国の人たちとも交流ができた中身の濃い研修になったと思います。この研修で出会った人たちに感謝し、学んだことをこれから生かしていきたいです。



- 1 現地学校で「日本語の授業」に参加
- 2 日豪水泳大会?(プールパーティー)
- 3 「ワイルドライフパーク」でカンガルーと仲良く

カナダ

【日程】平成19年10月16日(火)～24日(水)の9日間
 【派遣団員数】市内中学生9人
 【訪問都市】バンクーバー、バーノンほか

環境保護活動が盛んなカナダに関心

武田 梓沙さん(米山中2年)

この9日間、普通学校では学べないことを学んできました。一番思い出に残ったことは、ホストファミリーと過ごした日々です。会話はもちろん、みんなでパズルをしたり折り紙や将棋を教えてあげたり、とても楽しかったです。カナダで一番驚いたのは、外国では靴のまま家に入るのだと思っていたのですが、靴を脱いだことです。もう一つは雪が降っていたことです。日本では、地球温暖化のためか年々気温が上昇し、雪も少なくなってきています。やはりカナダは、「グリーンピース」の力が効いてきたせいなのかなあと思いました。グリーンピースとは、国際的な環境保護団体で、1971年にカナダで反核運動団体として結成され、環境保護活動などに取り組んでいるそうです。確かにカナダでは、木がたくさんあったし、まちにゴミがあるなんてこともなかったの、すごいなあと思いました。この9日間は、わたしにとって大きく貴重な体験でした。カナダで見たこと、聞いたこと、知ったこと、そして学んだことすべてを、これからたくさん生かしていきたいです。



- 1 バンノン市街を背景に記念撮影
- 2 オカナガン大学で英語の授業を体験しました
- 3 日本語の授業では楽しくコミュニケーション